

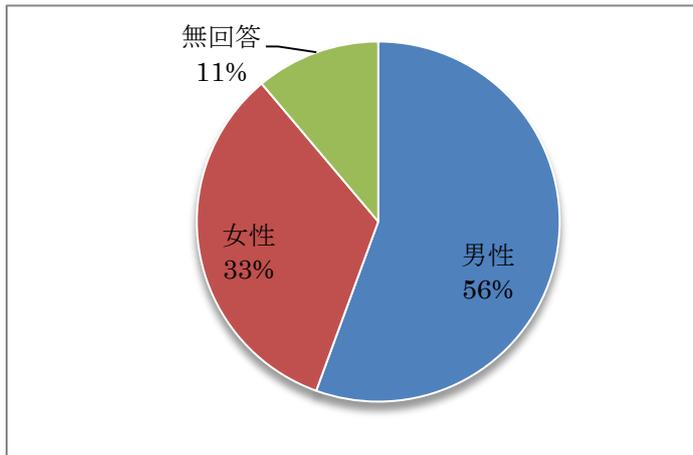
JAXA タウンミーティング in 釧路 開催報告

平成 28 年 11 月 5 日、JAXA タウンミーティング in 釧路～宇宙に釧路の願いを託す！～を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいる航空機の研究開発や、「きぼう」日本実験棟の利用について話題を提供し、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

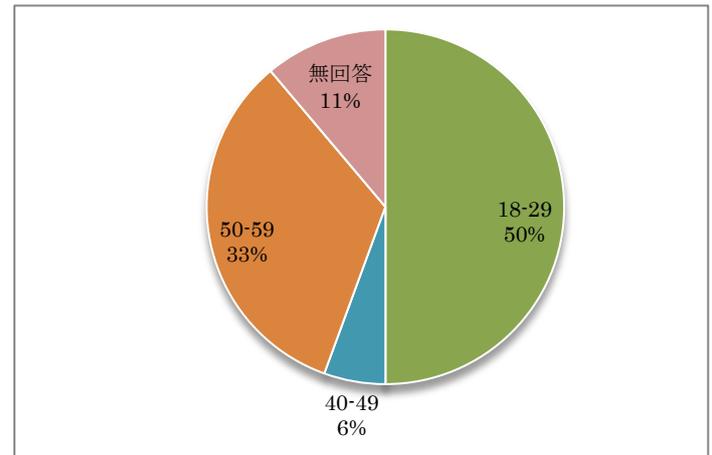
- 開催日時 平成 28 年 11 月 5 日（土） 18:00～20:30
- 会場 北海道立釧路芸術館 アートホール
- 参加者数 31 人
- 登壇者
 - ・ JAXA 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター 技術領域主幹 坂下 哲也
話題：「宇宙実験のビジネスへの利用
～宇宙ステーションをあなたの課題解決に使ってみませんか？～」
 - ・ JAXA 航空技術部門 航空プログラムディレクタ 大貫 武
話題：「空を飛ぶメカニズムと将来の飛行機」
- 進行コーディネーター
 - ・ JAXA 広報部長 庄司 義和

アンケート回答者の属性（有効回答数：18）

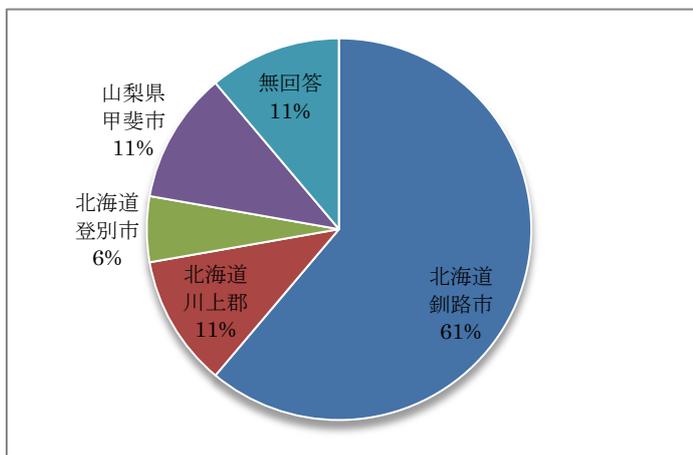
1. 性別



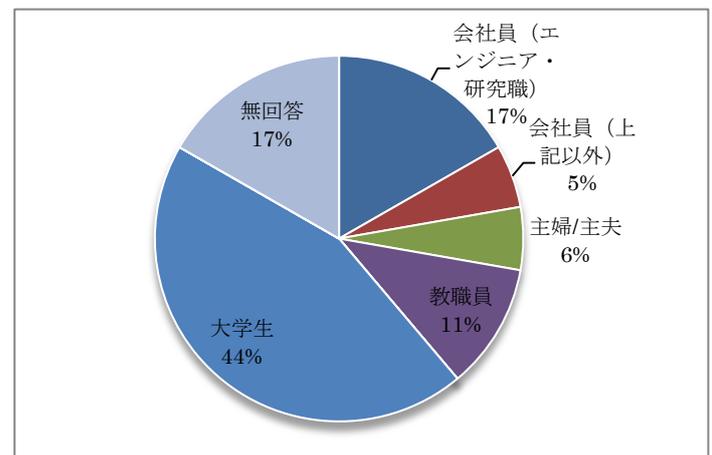
2. 年齢



3. 居住地



4. 職業



いただいた主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

■今回のタウンミーティングの話題に関連して

◇宇宙実験のビジネスへの利用～宇宙ステーションをあなたの課題解決に使ってみませんか？～

- ・ とても興味深く面白いお話でした。宇宙開発は次代を担う子供たちが夢を持ち易い分野だと思います。テレビなどのマスコミをもっともっと利用して、子供たちにアピールすることが大切だと思いました。
- ・ もっと JAXA のことや手の届く宇宙のことを子どもに知ってもらえるような活動が増え、ワクワクできる機会が増えると嬉しいです。
- ・ 惑星の名前は知っていても詳しくは何も知らない人が多いので、より濃い内容を伝えていってください！
- ・ 日常で宇宙を感じれる実験、施設、映像などを普及させてほしい。
- ・ 宇宙空間を体験できない上でどのような教育的営みを行えるか。
- ・ JAXA という仕事の目的、働く人たちが感じているやりがいや、努力、目にみえない部分（技術者）の体験などを子供たちに伝えてほしい。
- ・ 基礎研究と応用と、どちらにせよ今なにをやっているか、もっとアピールを。
- ・ 今日の話は、無重力空間で特色ある実験をする事に主眼が置かれていましたが、宇宙空間での滞在技術そのものについてももっと伺いたいです。
- ・ 宇宙教育というものは、宇宙に対し興味、関心の高い子どもには大いに有益ですが、一方でそうではない子どもにも、どういことを学ばせたいのか、どういう見方を身につけてほしいのか、考えてほしい。
- ・ 今日たくさん議論のあった教育利用はずっと続けて欲しい。過去の教育的成果物のアーカイブを整理してはいかがでしょうか。
- ・ 身体的な影響をもっと知りたい。骨密度とか。
- ・ 企業と連携していろいろな実験に取り組んでいることがわかりました。もっとどんな実験をしているのか、結果も含めて聞いてみたかったです。
- ・ 宇宙技術も経済的事情やその他様々な地上の事情から逃れられるものではないとは思いますが、これからも私たちに夢や希望、平和をもたらす宇宙技術であってほしいものだと思う。

◇空を飛ぶメカニズムと将来の飛行機

- ・ 我々の生活ととても密接な分野なので、研究をより進めることを希望します。
- ・ 空を飛ぶということはどのような仕組みなのかとても面白いです。翼の形や、エンジン、飛行機自体の形などなぜそのようになっているかは教育でも活かせると思います。
- ・ 騒音をなくす発想ではなく、音をエネルギーに変えるという発想もあると思った。減音を進めるとこどもの気づきが減るとおもう。
- ・ 安全性 100 パーセントにできるだけ近づけるよう頑張ってもらいたい
- ・ 素晴らしい技術、もっともっと JAXA の利益にできるようになってもらえればいいですね！
- ・ 基礎研究重要ですね。もっとパーソナルな飛行機ができるとよい。
- ・ 飛行機の技術というのは、音速を超える、超えないというところのせめぎ合いなのですね。
- ・ 技術という話題がでていましたが、現代において、科学者の方と一般の人々の間には、技

術に対する認識の差があると思います。もちろん、私も機械の内部構造については分かりませんし、直すこともできません。しかし、こういった状況は怖いなという感覚を持っております。子どもたちに、技術の内部に隠されている原理や、人々の創意工夫を伝えることが、これからの教育にとって大切なことだと思います。

- ・ 飛行機が飛ぶ原理について理解が深まりました。子どもにも理解できるような教材がほしいです。
- ・ 低燃費、低騒音の技術が必要。
- ・ 天候を気にせず移動できるようになったら便利。

■タウンミーティング、その他について

- ・ アポロ世代は宇宙開発の成果が見え易かった時代だが、今の若い世代へのアピールはなかなか難しいかもしれない。エンジニアベースでの体験を増やすという話は印象的だった。
- ・ 宇宙に旅行に行けるようになるのか、というか行ってみたい。
- ・ 対象年齢をもう少し低くしてみてもよかったですと思います。
- ・ 知らないお話をたくさん聞けたので、機会を増やしていただけたらと思います。
- ・ あこがれの JAXA に近づけた気分感激です。またメール方式の質問とってもいいですね。やはりこういうのは質問しての参加が最高に面白かったです。また来てください！
- ・ もっと人が来るといいですね。
- ・ また是非開いていただきたいと思います。
- ・ もっと時間が欲しいです。自分の頭じゃ追いつけませんでした。
- ・ Youtube などでも宇宙のことが見れるので、子どもたちも興味を持てるのではと思う。

